

【公 表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームたちっキッズ 放課後等デイサービス			
保護者評価実施期間	令和	7年	9月	1日 ～ 令和 7年 9月 30日
保護者評価有効回答数	対象者数	41名	回答者数	35名
従業者評価実施期間	令和	7年	9月	1日 ～ 令和 7年 9月 30日
従業者評価有効回答数	対象者数	9名	回答者数	9名
総括表作成日	令和 7年 11月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な専門職が従事している。	・保育士、児童指導員、言語聴覚士等各分野において職員を配置し療育の質が落ちないように工夫している。また、率先して意見やリードを行っている。	・支援内容や専門性の質を高める為、会議や研修は多く参加をしていく。
2	・集団療育（聴覚トレーニング、ビジョントレーニング）やその他療育では、個々に合わせた療育を提供している。	・定期的に職員間で見直しを行い、個々に合った内容のものを提供している。	・内容が固定化しない様に見直しを行っていく。
3	・自立支援や日常生活の充実の為の活動を日々取り入れている。	・活動を通して季節に合ったイベントを取り入れ、日常生活での動作の習得や集団活動への適応の向けた支援を行う。	・経験や体験を増やし個々の自信に繋がる様に心掛けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	・保護者同士の関わり、兄弟児、少人数での親子との関わり等が少ない。	・保護者交流会は、年2回開催しているがご都合上参加が困難なご家族がいる。	・少人数グループイベントなどを検討し今後参加して頂ける様に検討をしていく。
2	・療育のスペースを十分に確保する事が出来ない。	・利用者は低学年が多く上手くコミュニケーションがとれず職員が介入する場面が多い。その際に十分な話し合いの場を設けたいが周囲が気になり解決までに時間がかかる事がある。	・構造上部屋数自体を増やす事は難しいがコミュニケーションの取り方、利用者同士の関わり方に目を向け気になる際や話し合いが必要な際は十分な場所を確保出来る様にしていく。また、活動内容にも制限がかからない様にグループ活動を重点的に行っていく。
3	・地域交流の機会が少ない。	・利用者の安全を考え行えていない内容もあり、実施できていない状況である。	・地域施設や公共機関と連携し地域交流の機会、経験が制限されないようにしていく。また、地域交流としては図書館利用を数回行っている為今後も増やしていく。